

会 議 録

会議名	平成 26 年度 第 2 回定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成 27 年 1 月 23 日(金) 10:00~12:00
開催場所	丸亀市役所本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>板倉 宏昭(会長)、糸杉 宗州、片山 昭彦、木村 亮太、佐藤 友光子、 角野 幸治、高木 和代、高橋 勝子、都村 忠弘、宮武 浩一、森 茂(副会長)、 山内 法知</p> <p>(欠席委員)</p> <p>神原 正、草薙 めぐみ、平田 正数 (50 音順・敬称略)</p>
議 題	・瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案について
傍聴者	0 人
事務局	山田市長公室長、小山政策課長、渡辺副課長、富士川担当長、三井主事 (関係市町) 琴平町総務課
発言者	議事の概要及び発言の要旨
小山政策課長	<p>ただ今より、定住自立圏共生ビジョン懇談会を始めたいと思います。まず、委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。</p> <p>(委嘱状交付)</p>
小山政策課長	<p>それではここで、丸亀市梶市長様よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(梶市長より挨拶。)</p>
小山政策課長	<p>今回、委員が改選となり、初めて委員をされる方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(委員・2 市 3 町職員の自己紹介)</p>
小山政策課長	<p>次に、会長の選任についてですが、定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱の第 5 条に基づいて選任したいと思います。いかがいたしましょうか。</p>
都村委員	事務局の方でご意見はありますか。
小山政策課長	<p>事務局といたしましては、地域経済の活性化や地域づくりについて豊富な知識をお持ちの、香川大学地域マネジメント研究科に所属されている、板倉委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>

	<p>(拍手)</p> <p>(会長は板倉委員に決定。板倉委員挨拶。)</p>
小山政策課長	<p>続きまして、副会長の選任に移りたいと思います。副会長については、要綱の第5条に会長が指名すると規定されております。したがって、板倉会長よりご指名願いたいと思います。</p>
板倉会長	<p>前回に引き続きまして、森委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>(副会長は森委員に決定。森委員挨拶)</p>
小山政策課長	<p>それでは、ここからの議事進行につきましては、要綱第6条の規程によりまして、板倉会長にお願いいたします。</p>
板倉会長	<p>はい。それでは議事を進めさせていただきます。なお本日の会議でございますが、定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条第2項の規程に基づいて、現在委員総数15名中12名が出席しておりますので、会議は有効に成立しております。</p> <p>それでは、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>(事務局より、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案について説明。)</p>
板倉委員	<p>それでは、事務局のご説明に関してご意見やご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
高橋委員	<p>中小企業の活性化についてですが、26年度の事業費と、実績のところに書かれている事業費の額が違うのはなぜですか。</p> <p>また、どの取組事項においても委員から沢山の意見が出ていますが、これらの意見に対してどのように取組んでいくのか、説明をお願いしたいです。27年度の事業は既に決定しているのですよね。どの時点で私たち委員の意見が反映されているのかを教えてくださいたいです。</p>
富士川担当長	<p>まず事業費についてですが、26年度の事業費は中讃勤労福祉サービスセンターの事業費と、定住自立圏域就職説明会の事業費を合わせたものとなっております。実績のところには就職説明会の事業費のみを記載しているので、残りの額が中讃勤労福祉サービスセンターの事業費となります。</p>
渡辺副課長	<p>次に、委員の方から頂いた意見についてですが、ビジョンに掲載すると共に、所管</p>

	<p>課に情報提供しております。意見の反映の時期ですが、検討から即実施に繋がるものもあれば、十分な検討が必要なものもありますので、一概には言えませんが、予算編成の前には意見を取りまとめて、所管課の方に投げかけております。</p>
小山政策課長	<p>意見に対する取組についてですが、例えば今年度は定住自立圏域就職面接会を実施しました。これは元々この会議でご意見を頂いたもので、それを検討した上で実現したものだと思います。</p>
高橋委員	<p>実現したというのは実績から分かるのですが、例えば大学等との交流・合同研究は、ボランティアを養成するためだけの連携では無いと思います。もっとデータ収集や分析をして、新たな取組を作りあげる仕組みを作るべきという意見が、以前あったと思うのですが。</p>
小山政策課長	<p>大学等との連携は、基本的には大学とそれぞれの自治体でやっていくもので、なおかつ圏域で実施すれば、より効果が出るだろうということです。現在のところは、ビジョンの実績に反映していませんが、それぞれの自治体で学生が色々な活動をしています。</p>
板倉会長	<p>他にございますか。</p>
木村委員	<p>2市3町で圏域のPR活動を行っていたということですが、以前高松市に住んでいた時に、情報は全く入って来ませんでした。やはり学生たちがイベントに参加しないと、盛り上がり期待できません。もっと広報活動に力を入れるべきだと思います。</p> <p>また、県外から学生を誘致し、地域の活性化を図るということですが、盛り上がりのないところでレポートを提出してもらっても、あまり有効な意見は出ないと思います。盛り上がりが無かった、面白みが無かったという意見が出てくるだけだと思います。</p> <p>また、コミュニティバスについてですが、現状ではあまり連携されているとは言えないと思います。</p> <p>また、瀬戸内国際芸術祭についてですが、2市3町の中で芸術祭を行ったり、作品を出展したりすることで、圏域へ観光客を誘致する意味合いが強まると思います。</p>
小山政策課長	<p>まず広報活動についてですが、発信力を高めるという方法もあります。例えばスマートアプリなど手法が多様化しておりますので、検討してできそうなものから実施していきたいです。</p> <p>また、県外学生の招致についてですが、県外の学生に圏域の情報発信をしてもらうことも目的の一つです。</p> <p>コミュニティバスや瀬戸内国際芸術祭についてはこれからの課題でして、すぐに実現するのは難しいかもしれませんが、機会を生かして効果的な方法をとっていく必要があると思います。</p>

板倉会長	<p>他にございますか。</p>
佐藤委員	<p>初めての参加なので、今までのいきさつも含めてお聞きしたいのですが、一つ目は、駅前や中心市街地の活性化はこれまでどのように論じられてきたのかということです。駅前の高架下に色々な店舗等が入ると、非常に感じが良くなると思います。高齢の方など、車で移動する人たちばかりではないですし、駅前が活性化すると、町全体が元気になるんですね。</p> <p>二つ目は金比羅街道についてですが、宇多津街道というのが学生の最近の研究から見出されたそうです。丸亀辺りで金比羅街道に合流するそうなので、宇多津街道を金比羅街道と連携させてはどうかと思うのですが。</p> <p>また、木村委員さんもおっしゃっていましたが、芸術に普段から力を入れていった方が良いのではないかと思います。宇多津では街にアートを取り入れようということで展覧会が開かれていましたが、なかなか良かったです。このような取組も2市3町と連携してはどうかと思うのですが、宇多津町と連携するという事はないのですかね。</p> <p>また、瀬戸内国際芸術祭はとても良いものだと思います。男木島には10万人程来たそうですが、本島は5万人程だったということで、もう少し来てほしいと思います。私も幾つかの島に渡って見たのですが、丸亀駅では観光客を島に導く案内が上手くできておらず、ちょっと1泊ぐらいしようかという人たちにとって、不便だったと思います。もう少し環境を整えれば観光客も増え、島が活性化すると思います。</p> <p>もう一点、巡礼の世界遺産化についてはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
渡辺副課長	<p>まず、駅前の活性化についてですが、丸亀市においても駅前や商店街の活性化は長年の課題となっております。現在も産業振興や観光、都市計画など多くの面から様々な取組を行なっている状況です。今年度はこれまでの取組に加えて、若手職員を中心としたプロジェクトチームを組んで、駅前の活性化について検討や提案をしているところです。圏域のビジョンには掲げておりませんが、丸亀市は課題として捉えておりますし、各市町も課題とされているかと思えます。</p>
山田市長公室長	<p>金比羅街道についてですが、宇多津町と丸亀市の生活圏はほぼ同じですし、宇多津街道と連携していく方向性も大事だと思います。</p> <p>また、瀬戸内国際芸術祭についてですが、案内については次回の課題にさせていただきます。圏域で実施する場合、できれば琴平に泊まって頂き、また、中讃には芸術性の高い美術館等も沢山ありますので、広域観光をしていただけるような視点が大事かと思えます。</p> <p>また、広島などに大学生を30名ほど呼んで、夏休みの時期に制作活動を行なってもらうというレジデンス的なことを、3年ほど実施しております。こちらについてももっとPRしていかなければならないし、育った人材に帰ってきて頂いて、芸術活動</p>

	<p>に努めてもらうということも考えております。</p> <p>巡礼の道については、文化財指定をしなければいけないので検討が必要ですが、そういった方向性は大事にしたいです。</p>
板倉会長	他にございますか。
糸杉委員	定住自立圏に関する情報発信についてですが、例えばメーリングリストを利用してイベント情報などを発信すれば、集客がしやすくなると思います。もしくは事務局からメールマガジンを発信する方法もあると思います。
小山政策課長	情報発信の面で連携することは重要だと思うので、検討していきたいと思います。
板倉委員	他にございますか。
高橋委員	<p>病児・病後児保育についてですが、圏域内同一料金で利用できるのはとても良いと思います。しかし、現在丸亀市の施設で病児・病後児保育を受けられる人数は5人までなので、丸亀市の方が利用したい時に、定員がいっぱいで使えない状況に陥る事がありえると思います。料金が同一になって、どれくらい市外の方から利用されているか調査して頂きたいです。資源を使い合うことも大切ですが、2市3町が同じレベルになって地域を良くしていくことも大事だと思うので、他の市町でも病児・病後児保育を促進していってもらえたらと思います。</p> <p>また、現在丸亀市で子育てフェスタを実施しております。26年度と25年度は丸亀市の予算で実施したのですが、24年度は県の事業として、中讃地域での実施でした。その時に、丸亀市だけではなく他の地域の方もいらっしゃって、子育てに関する色々な情報を得られる場となりました。27年度も子育てフェスタを実施できたらと思っているのですが、圏域で実施できれば幅広い情報提供の場になると思います。</p>
渡辺副課長	そのようなご意見があったということをお管課の方に伝えて検討いたします。また、今後の動きが分かり次第お知らせいたします。
板倉委員	他にございますか。
都村委員	今度、丸亀市に野球場ができますよね。2市3町で子どもたちの野球大会を実施するなどしてはどうでしょうか。また、野球に限らず他のスポーツでも連携して振興を図れたらと思います。
山田市長公室長	子どもたちの合同練習などは現在計画中です。また、施設の使用料も、できれば圏域内で一律にすれば利用しやすくなるかと思っています。もちろん、定員が一杯になって地元の方が利用できなくなるといった懸念もあるので、検討が必要です。

角野委員	市民球場を活用して定住自立圏のPR をしていくためにも、情報発信に力を入れていく必要があると思います。前回の懇談会で、善通寺にケーブルテレビが繋がっていないと申しましたが、もっと情報発信・共有を進めていってほしいです。
渡辺副課長	現在もカマタマーレやガイナーズの選手を通じて、2市3町で子供向けのスポーツ教室などを開催しております。野球場完成後も引き続き、子供向けのイベントを検討中で、その中で圏域のPR も行なっていくことを考えております。
板倉会長	他にございますか。
片山委員	図書館相互利用についてですが、このようなサービスがあるということを知らない人が多いと思います。金比羅街道の連携についても、健康教室で街道のウォーキングを実施している私自身知りませんでした。情報発信が重要だと思います。
小山政策課長	徐々にですが、連携して色々な取組ができていますので、できるだけ圏域の方に知って頂きたいです。圏域の方にとっては、自分の町でどのようなサービスを受けられるのかが重要な情報だと思います。やはりそれぞれの自治体が情報発信していくことが基本かと思います。これについては各市町に十分周知していきたいです。また、圏域で連携して情報発信していく方法も検討しておりますので、また進み次第お知らせしたいと思います。
板倉会長	他にございますか。
角野委員	交通機関の連携についてですが、多度津から先は乗換があり、大変不便ですよ。例えば JR の本数を増やしてもらおうなど、もう少し圏域内の利便性をアップして頂けたらと思います。
佐藤委員	県外の方からも、JR の接続が分かりにくい、不便だという声を聞きます。また、特に県外の高齢の方が目的地に行くために地図を見ても、どの駅で降りれば良いのかが分かりにくいということです。
山田市長公室長	JR への要望等につきましては、圏域の市町長の会で、提案があった旨を伝えたいと思います。
佐藤委員	観光地間を有機的に結ぶコミュニティバスの計画は無いのですか。そういったことを実施している自治体もあるようです。定期を買えば主要な観光地に行けるとするのは難しいでしょうか。
山田市長公室長	バスの路線関係については改善していかなければいけないと思います。

板倉委員	他にございますか。
宮武委員	県外から来ている学生は結構いますし、若者に対して2市3町のイベント情報を発信していく必要があると思います。そうしていくことで、圏域に就職する若者も増えていくと思います。情報発信の際にはターゲットを絞って、大学などの学校に、十分に発信して頂きたいと思います。
板倉会長	香川大学にはサテライトキャンパスというのがあります。東かがわ市や坂出市にあります。まだ2市3町にはありません。今後各市町にも増やしていき、そこで2市3町の課題を考えるというのも良いと思います。
角野委員	婚活も、人口を増やす一つ的手段になると思います。善通寺だけで行なってもインパクトが弱いので、ぜひ2市3町で連携して行なっていければと思います。例えば圏域内の男性と圏域外の女性を対象にすれば、圏域内の人口増加に繋がると思います。やはり若い人をターゲットに、10年後、20年後を見据えてやっていけたらと思います。
小山政策課長	善通寺市の方では既に婚活を実施されているということですか。
角野委員	新年度から実施していこうと、計画を進めているところです。
板倉会長	他にございますか。
木村委員	高松の商店街に丸亀町グリーンができた時に、瞬間的には活気がありました。また、岡山市にも最近イオンができて、活気があります。丸亀市にも大型商業施設を誘致すれば良いのですが、それでは既存の商店街に更に人が来なくなってしまいます。そこで、商店街を大型商業施設で囲えば良いのではないかと思います。大型商業施設がなければ人は来ないと思います。丸亀市に行こうという目的を作らないと、人は集まって来ないのではないのでしょうか。
板倉会長	丸亀市は非常に良い街ですね。まずお城がありますし、JRの駅もあり、港も近いので、そういった利点を生かしていけたら良いですね。
角野委員	商店街が大型商業施設と競争するのではなく、いかに共存するかが一つのテーマとなっております。大型商業施設に来た人を、どのように中心市街地に引っ張って来るかというようなことが課題であり、大型店舗を排除するような考え方は無くなってきています。一時は敵視するような考えがあって、郊外に大型店舗を建てるようにしてもらっていましたが、今は中心市街地の方に来てほしいというスタンスです。

木村委員	<p>現在、丸亀でよく利用されているのは、国道 11 号線だと思います。そこで 11 号線に、中心市街地に誘導する看板を設置すれば、人を呼び込めると思います。そして大型商業施設があれば、中心市街地を丸亀のメインストリートにすることができると思います。また、広報活動に最も適しているのはチラシやインターネットよりも、多くの人が見る TV だと思うので、TV 報道の活用に力を入れるべきです。</p>
山田市長公室長	<p>中心市街地活性化の状況としては、最近、富屋町商店街のアーケードを撤去しました。今後は、その道を活用した歴史街道のようなものを計画しており、香川大学の学生と協力して取組んでいるところです。今回頂いたご意見も参考にして進めていきたいです。</p>
板倉会長	<p>他にございますか。</p> <p>では、一つ目の議事の瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案については、ご承認頂くということによろしいでしょうか。</p> <p>それでは、二つ目の議事である、その他について、事務局の方から何かございますか。</p>
小山政策課長	<p>特にございません。</p>
糸杉委員	<p>今回、委員が改選となりましたので、今後のスケジュールと、目標について教えて頂けますか。</p>
渡辺副課長	<p>今回頂いたご意見を基に、今年の 3 月にビジョンの見直しを実施します。今年度の懇談会は今回のみですが、来年度からもビジョンの範囲内に限らず、ご意見をお聞きしていきたいと思います。次回の開催は、7 月頃を予定しております。そこでお聞きした意見を基に、次年度の予算や事業の実施計画を検討していきます。</p>
小山政策課長	<p>次回の開催までには、2 市 3 町の市町長さんに集まって頂く会もありますので、頂いた意見をお伝えし、検討していきたいと思います。</p>
板倉会長	<p>では、日程が決まり次第、事務局の方からご連絡をお願いいたします。皆様には次回もぜひ出席をよろしくをお願いいたします。では、本日の会議はこれで終了といたします。</p> <p>(会議終了)</p>